

計画期間

令和3年度～令和12年度

愛別町 肉用牛生産近代化計画書

令和4年3月

北海道 愛別町

目 次

- I 肉用牛生産の近代化に関する方針
- II 肉用牛の飼養頭数の目標
- III 肉用牛経営の改善の目標
 - 肉用牛経営方式
- IV 肉用牛の飼養規模の拡大に関する事項
- V 国産飼料基盤の強化に関する事項
- VI 肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置
- VII その他肉用牛生産の近代化を図るために必要な事項

I 肉用牛生産の近代化に関する方針

愛別町は、北海道のほぼ中央、上川盆地の東北端に位置し、稲作を中心に発展してきた。米の生産調整を機にきのこ及び肉用牛の生産を振興し、現在では、「米・きのこ・畜産」が本町農業の3本柱となっている。

本町における農家戸数は87戸あり、その内畜産農家は8戸、生産額は14億5,235円と本町農業において欠くことの出来ない産業の一つであることから今後も肉牛を中心とし畜産の生産基盤確立を図っていく。

畜産を取り巻く環境は、口蹄疫、豚PEDなどの家畜伝染病の発生等があり、食に対する安全・安心の確保が消費者ニーズとなっていることから、家畜伝染病自衛防疫組合と連携し安全・安心な商品の生産に努めるものとする。家畜の排せつ物については適性に管理し、堆肥化を進め資源循環型の農業を实践し、クリーン農業を目指す。

また、町内では転作作物として、牧草、デントコーン、稲WCS、SGS、飼料用米の生産を行っており、町内産の粗飼料を給与しコスト低減を図るとともに、粗飼料自給率の向上を図っていく。

本計画の円滑な達成に向けて指導體制の強化を図り関係機関と生産者が一体となった事業推進により本町畜産の総合的發展を目指す。

II 肉用牛の飼養頭数の目標

区域名	区域の範囲	現在（平成30年度）								目標（令和12年度）							
		肉用牛総頭数	肉専用種			乳用種等			肉用牛総頭数	肉専用種			乳用種等				
			繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種		計	繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種	計
愛別町	一円	頭 2,729	頭 128	頭 101	頭 0	頭 229	頭 0	頭 2,500	頭 2,500	頭 2,835	頭 150	頭 185	頭 0	頭 335	頭 0	頭 2,500	頭 2,500
合計		2,729	128	101	0	229	0	2,500	2,500	2,835	150	185	0	335	0	2,500	2,500

- (注) 1. 繁殖雌牛とは、繁殖の用に供する全ての雌牛であり、子牛、育成牛を含む。
 2. 肉専用種のおの他は、肉専用種総頭数から繁殖雌牛及び肥育牛頭数を減じた頭数で子牛を含む。以下、諸表において同じ。
 3. 乳用種等とは、乳用種及び交雑種で、子牛、育成牛を含む。以下、諸表において同じ。

2 肉用牛経営方式

(1) 肉専用種繁殖経営

目指す経営の姿	経営概要						生産性指標																		備考
	経営形態	飼養形態				牛				飼料						人									
		飼養頭数	飼養方式	外部化	給与方式	放牧利用(放牧地面積)	分娩間隔	初産月齢	出荷月齢	出荷時体重	作付体系及び単収	作付延べ面積※放牧利用を含む	外部化(種類)	購入国産飼料(種類)	飼料自給率(国産飼料)	粗飼料給与率	経営内堆肥利用割合	生産コスト	労働		経営				
子牛1頭当たり費用合計(現状平均規模との比較)	子牛1頭当たり飼養労働時間	総労働時間(主たる従事者の労働時間)	粗収入	経営費	農業所得	主たる従事者1人当たり所得																			
専業経営	家族	78	牛房群飼		分離給与	28.9	10.0	23	9.0	330	320	28.9	3	25	25	10	105,600	92	2,600						
		100	牛房群飼		分離給与	30.0	10.0	23	9.3	330	350	28.9	2	35	35	10	82,300	72	2,400						
専業経営	家族	50	牛房群飼		分離給与	4.2	10.0	23	9.0	330	300	4.24		100	100	10	148,000	144	2,400						
		50	牛房群飼		分離給与	6.0	10.0	23	9.3	330	330	4.24		100	100	10	148,000	144	2,400						

(2) 肉用牛（肥育・一貫）経営

方式名	経営概要			生産性指標																	備考	
	経営形態	飼養形態			牛				飼料						人							
		飼養頭数	飼養方式	給与方式	分娩間隔	初産月齢	出荷月齢	出荷時体重	作付体系及び単収	作付延べ面積 ※放牧利用を含む	外部化(種類)	購入国産飼料(種類)	飼料自給率(国産飼料)	粗飼料給与率	経営内堆肥利用割合	生産コスト	労働		経営			
				ヶ月	ヶ月	ヶ月	kg	kg	ha			%	%	割	円(%)	hr	hr	万円	万円	万円	主たる従事者1人当たり所得	
肉専用種肥育	家族	1	牛房群飼	分離給与	10.0	23	9.0	330	320	28.9			25	25	10	105,600	92	2,600				
		0																				
肉専用種肥育	家族	100	牛房群飼	分離給与	3.0	27	24.0	750	300	51.1			100	100	10	312,900	72	6,240				
		185	牛房群飼	分離給与	3.0	27	24.0	750	330	51.1			100	100	10	169,000	38	4,800				
交雑種素牛	法人	1,700	牛房群飼	分離給与	0.7	7	6.3	295								758,500	2	3,600				
		1,700	牛房群飼	分離給与	0.7	7	6.3	295								758,500	2	3,600				
交雑種素牛	法人	600	牛房群飼	分離給与	1.0	7.8	6.8	300								260,000	6	3,600				
		600	牛房群飼	分離給与	1.0	7.8	6.8	300								260,000	6	3,600				
交雑種肥育	家族	200	牛房群飼	分離給与	7.8	24.5	16.7	850		53.1			100	100	10	341,600	24	2,400				
		200	牛房群飼	分離給与	7.8	24	16.2	850		53.1			100	100	10	341,600	24	2,400				

IV 肉用牛の飼養規模の拡大に関する措置

(1) 地域別肉用牛飼養構造

	区域名		① 総農家数	② 飼養農家 戸数	②/①	肉用牛飼養頭数							
						総数	肉専用種			乳用種等			
							計	繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種
	愛別町	現在 目標	戸 87	戸 2	% 2.3	頭 128	頭 128	頭 128	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0	頭 0
肉専用種繁殖経営	愛別町	現在	87	2	2.3	128	128	128	0	0	0	0	0
		目標		2		150	150	150	0	0	0	0	0
肉専用種肥育経営	愛別町	現在	87	2	2.2	101	101	0	101	0	0	0	0
		目標		2		185	185	0	185	0	0	0	0
乳用種・交雑種肥育経営	愛別町	現在	87	3	3.4	2,500	0	0	0	0	2,500	0	2,500
		目標		3		2,500	0	0	0	0	2,500	0	2,500

(注) () 内には、一貫経営に係る分(肉専用種繁殖経営、乳用種・交雑種育成経営との複合経営)について内数を記入すること。

(2) 肉用牛の飼養規模の拡大のための措置

第2の3の(4)の記載上の注意を参照の上、具体的に記述すること。

- ① 規模拡大のための取組
施設増大や飼料供給体制の変化等による機械設備の導入については、畜産クラスター事業等の活用を検討する。
- ② 規模拡大は困難だが経営規模を維持するための取組
転作田における飼料作物の生産が盛んなことからそれらを有効活用し、コストの低減を図る。
- ③ ①・②を実現するための地域連携の取組
畜産農家と稲作農家との連携強化を図り、生産面積の維持に努める。

V 国産飼料基盤の強化に関する事項

1 飼料の自給率の向上

		現在		目標（令和12年度）	
飼料自給率	乳用牛		%		%
	肉用牛	7	%	28	%
飼料作物の作付延べ面積		89.5	ha	120	ha

2 具体的措置

第2の3の（5）の記載上の注意を参照の上、各都道府県において重点化する取り組みを中心に可能な限り具体的に記述すること。

①粗飼料基盤強化のための取組

条件不利な水田等を放牧や飼料生産に活用し、景観保全や鳥獣害対策にも役立てる。

②輸入とうもろこしの代替となる飼料生産の取組

飼料用米の多収品種の利用やコスト削減、複数年契約による安定生産・供給の推進を図る。

VI 肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置

1 肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置

(1) 肉用牛(肥育牛)の出荷先

区域名	区分	現在（平成30年度）				目標（令和12年度）			
		出荷頭数 ①	出荷先		②/①	出荷頭数 ①	出荷先		②/①
			県内 ②	県外			県内 ②	県外	
愛別町	肉専用種	頭 80	頭 40	頭 40	% 50	頭 80	頭 80	頭 0	% 100
	乳用種	0	0	0	0	700	350	350	50
	交雑種	140	70	70	50	350	350	0	100
	計	220	110	110		1,130	780	350	

(2) 肉用牛の流通の合理化

当町より25Km以内に家畜市場、食肉処理加工施設があることから地の利をいかし、県外出荷をやめ経費の削減を図る、

VII その他肉用牛生産の近代化を図るために必要な事項

- 2 中小規模の家族経営を含む収益性の高い育成の経営
過去の経営内容を分析し数値に基づいた経営指導の実践
- 3 家畜衛生対策の充実・強化
町内独自のワクチネーション体制の確保により疾病予防
愛別町家畜伝染病自営防疫組合を中心とした衛生対策実践